

NX7700x/A5010E-2 v2

ご使用時の注意事項

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用において、ご注意いただくことがあります。誠に恐れ入りますが、ご使用前に下記内容を必ずご一読ください。
なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

■ 注意事項

● 本製品のマニュアルについて

「本製品に関する詳細は、下記サイトに掲載しているマニュアルに記載しています。

ご購入頂いた型番で、製品マニュアルをご検索ください。

<https://jpn.nec.com/nx7700x/>

また、ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、エクスプレス通報サービス(MG)に関しては、

ESMPRO 日本語ポータルサイト<<https://jpn.nec.com/esmsm/>>

NEC サポートポータル<<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?isIntra=0&id=9010102124>>の最新の情報およびバージョンをご確認の上、ご利用ください。

● VMware ESXi のドライバ・サービスモジュールについて

本製品で使用する VMware ESXi のドライバ・サービスモジュールは、以下 Web サイトに最新版が掲載されています。Web に掲載されている内容を確認し、適切なバージョンを適用してください。

1. Agentless Management Service および iLO Channel Interface Driver

<https://jpn.nec.com/nx7700x/>

([技術サポート情報・ダウンロード] – [ドライバー、ユーティリティ関連の物件] のページの
ユーティリティの項を参照)

2. WBEM プロバイダおよび CLI ツール

<https://jpn.nec.com/nx7700x/>

([技術サポート情報・ダウンロード] – [ドライバー、ユーティリティ関連の物件] のページの
ユーティリティの項を参照)

3. VMware ESXi デバイスドライバ

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866>

(「エンタープライズサーバ(NX7700x シリーズ)」から対象 OS の「デバイスドライバー一覧」を選択)

● EXPRESSBUILDERヘルプについて

EXPRESSBUILDER のヘルプとメンテナンスガイドで記述が異なる場合は メンテナンスガイドの方を優先してください。

● Product IDについて

Product ID は、スライドタグに記載されています。



● iLOのセキュリティ機能の注意事項

- [Information] - [Security Dashboard]及びiLO Webインターフェース画面の右上部に  リスクが常に表示されます。
- RBSUの設定やiLOの設定の内容次第で、iLOセキュリティの状態がリスク状態(赤色)で表示されますので、お客様のセキュアポリシーに応じてセキュリティの対処を行ってください。
- 推奨値などの詳細については、iLO5ユーザーズガイドを参照してください。
- 但し、『Require Host Authentication』設定については、「iLO Webインターフェースから [ホスト認証が必要] 設定を有効に設定した場合の注意事項」に注意事項がありますので、ご確認ください。

iLOの負荷の状態により[Information] - [Security Dashboard]の”全体セキュリティーステータス”が『リスク』であっても、iLO Webインターフェース画面の右上部の”iLOセキュリティ”アイコンが無色になる場合があります。この場合、[Information] - [Security Dashboard]の”全体セキュリティーステータス”が最新のセキュリティ状態を示します。

● システムユーティリティより、iLO Webインターフェースから [ホスト認証が必要] 設定を有効に設定した場合の注意事項

「セキュリティ > アクセス設定 > iLO」にある [ホスト認証が必要] を『有効』に設定。

設定を行った場合、次に示す状況が発生します。

- アラートビューアに、“Remote Insight/ Integrated Lights-Out 認証されないログイン試行検出”的メッセージが多数表示されます。
- Starter Pack (Standard Program Package) を適用するとエラーが発生します。

また、次のサービスや機能をご利用頂けません。

- エクスプレス通報サービスにおいてハードウェア障害に関する通報
- RAID 通報
- iLO が収集するハードウェアに関するデバイス情報や設定情報の参照、及びイベントログ採取機能

● iLOの再起動を行う場合の注意事項

サーバ起動からOSの起動完了までの間(POST(Power On Self Test)実行中も含みます)は、iLOの再起動を行わないでください。

また、システムユーティリティの操作途中も、iLOの再起動を行わないでください。

該当タイミングでiLOの再起動を行うと、期待しない動作となる場合があります。

例えばシステムユーティリティの設定変更中にiLOの再起動(※)を行うと、直後のシステム再起動処理(Reboot)が正常に動作しない場合や、装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報を消失することがあります。また、POST(Power On Self Test)実行中にiLOの再起動を行うと、iLO Webインターフェース：[情報]-[概要]ページにおけるUUID、UUID(論理)が不正な表示になる場合があります。

<対象となるiLOの再起動の方法>

- iLO Webインターフェースなどを利用したネットワーク経由でのiLOの再起動。
- UIDスイッチを使用したiLOの再起動。

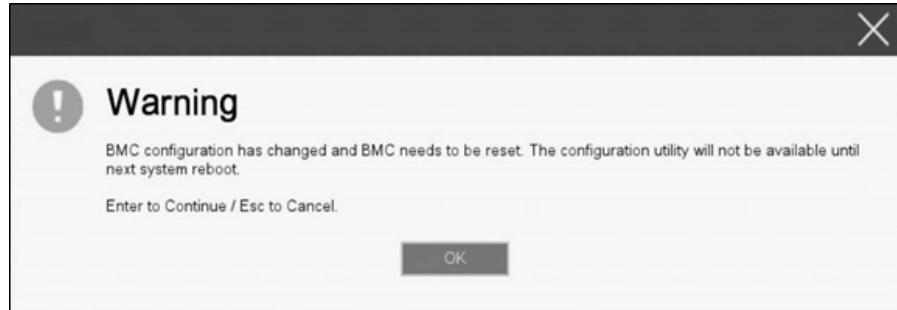
※ システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での設定変更後のiLOの再起動については、次項の「システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項」を参照して操作してください。

● システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項

システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での操作において、以下の(1)のポップアップが表示された場合は(2)以降の手順を厳守してください。

注意事項に従った操作を実施されない場合、「Memory Initialization Start」のメッセージでPOST停止、あるいは、装置に記録されているSerial Number、Product IDの消失が発生する場合があります。

- (1) システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」において設定の変更を行うと、iLO の再起動を行うために、次の Warning(注意) ポップアップが表示されることがあります。

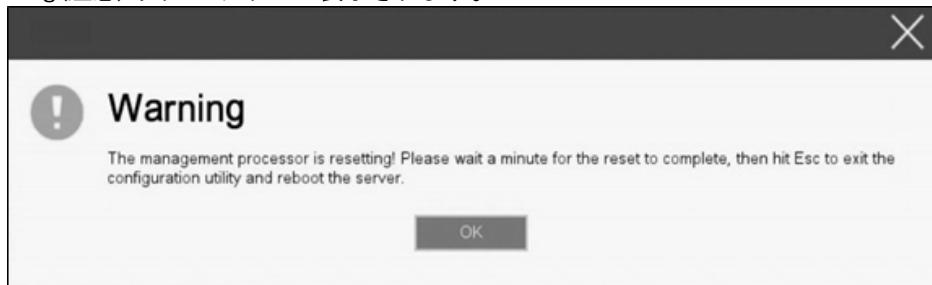


英語表示の場合



日本語表示の場合

- (2) 「OK」を押して進めます。
(3) 次の Warning(注意) ポップアップが表示されます。



英語表示の場合



日本語表示の場合

- (4) この Warning(注意) ポップアップが表示されている状態にて必ず1分以上お待ちください。
その間、何も操作しないでください。
(5) 1分以上経過後、装置前面のステータスランプが緑色で点灯していることを確認してください。
※iLO が再起動中 : ステータスランプが緑色で点滅（毎秒1回）
iLO の再起動が完了し正常動作 : ステータスランプが緑色で点灯
(6) 再起動の完了が確認できたら、「OK」を押してください。
(7) <ESC>キーを複数回押してシステムユーティリティの画面に戻ります。
(8) システムユーティリティの「Reboot the System」を選択して再起動します。

● Serial Number、Product IDが消失した場合の対処について

Serial Number、Product ID が消失した場合、以下の手順にて復旧することができます。

- (1) 装置の電源を切り、電源コードをコンセントから外します。
- (2) 30 秒以上経過したのち、電源コードをコンセントに接続します。
- (3) POWER スイッチで装置の電源を ON にします。
- (4) サーバーが起動し、POST 画面が表示されます。
- (5) <F9>キーを押してシステムユーティリティを起動します。
もし、システムユーティリティが起動できない状態になっている場合は、システムメンテナンススイッチの SW6 によりシステム設定をデフォルト値に戻すことで復旧することができます。
詳細な手順は、各機種のメンテナンスガイド（1章 保守）の「システム設定情報の初期化」の項をご参照ください。再起動後、<F9>キーを押してシステムユーティリティを起動します。
- (6) システムユーティリティの「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Service Options」メニューより、Serial Number と Product ID の値を確認します。
(正しい Product ID と Serial No. の確認方法については(12)項を参照ください。)
- (7) Serial Number と Product ID の値が期待する値ではない（消失している）場合は、システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Default Options」を選択します。
- (8) 「Restore Default Manufacturing Settings」を選択します。
- (9) 「Yes, restore the default settings.」を選択します。
- (10) 自動的に装置が再起動し、POST 画面が表示されます。
- (11) <F9>キーを押してシステムユーティリティを起動します。
- (12) 装置のスライドタグに記載されている Serial Number と Product ID をシステムユーティリティの「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Service Options」メニューより、設定します。



- (13) RBSU 設定項目をデフォルト値から変更されている場合は、その RBSU 項目の確認と再設定をします。

● 「Memory Initialization Start」のメッセージでPOST停止した場合の対処について

「Memory Initialization Start」のメッセージで POST 停止した場合、システムメンテナンススイッチの SW6 によりシステム設定をデフォルト値に戻すことで復旧することができます。
復旧作業にあたりまして保守サービス会社にお問い合わせください。

● iLO Web インターフェースのUUIDの不正値表示について

POST (Power On Self Test) 実行中に iLO の再起動を行うと、iLO Web インターフェースの [Information] - [Overview] ページの UUID、UUID (論理) の値が稀に不正な表示となることがあります。
不正な表示となった場合は、本体装置の電源をオフ、オンしてください。

● iLO 1.43以上、2.10未満での注意事項

iLO5 ファームウェア 1.43 以上、2.10 未満をご使用の場合、[Information] - [Security Dashboard] に [Last Firmware Scan Result] が表示されますが、本ハイパーリンクをクリックしないでください。
誤ってクリックした場合、Web ページ内のメニュー間移動が出来なくなります。その場合、ブラウザーのリロードボタンをクリックするか、もしくは一旦 iLO Web インターフェースのログアウトを実行して再度ログインしなおしてください。

情報 - セキュリティダッシュボード

概要 セキュリティダッシュボード セッションリスト iLOイベントログ インテグレーテッドマネジメントログ
Active Health Systemログ 診断

† 全体セキュリティステータス: OK

セキュリティ状態	本番環境		
サーバー構成ロック:	Disabled		
セキュリティパラメーター	↓ステータス	状態	無視
セキュリティオーバーライドスイッチ	🛡 OK	Off	<input type="radio"/>
IPMI/DCMI over LAN	🛡 OK	無効	<input type="radio"/>
最小パスワード長	🛡 OK	OK	<input type="radio"/>
iLO RBSUへのログイン要求	🛡 OK	有効	<input type="radio"/>
認証失敗ログ	🛡 OK	有効	<input type="radio"/>
セキュアブート	🛡 OK	有効	<input type="radio"/>
パスワードの複雑さ	🛡 OK	有効	<input type="radio"/>
ホスト認証が必要	🛡 OK	無効	<input type="radio"/>
最新のファームウェアスキャン結果	🛡 OK	OK	<input type="radio"/>

日本語表示の場合

Information - Security Dashboard

Overview Security Dashboard Session List iLO Event Log Integrated Management Log
Active Health System Log Diagnostics

† Overall Security Status: OK

Security State	Production		
Server Configuration Lock:	Disabled		
Security Parameter	↓Status	State	Ignore
Security Override Switch	🛡 OK	Off	<input type="radio"/>
IPMI/DCMI Over LAN	🛡 OK	Disabled	<input type="radio"/>
Minimum Password Length	🛡 OK	OK	<input type="radio"/>
Require Login for iLO RBSU	🛡 OK	Enabled	<input type="radio"/>
Authentication Failure Logging	🛡 OK	Enabled	<input type="radio"/>
Secure Boot	🛡 OK	Enabled	<input type="radio"/>
Password Complexity	🛡 OK	Enabled	<input type="radio"/>
Require Host Authentication	🛡 OK	Disabled	<input type="radio"/>
Last Firmware Scan Result	🛡 OK	OK	<input type="radio"/>

英語表示の場合

● iLOの時刻についての注意事項

iLO5 フームウェア 1.45 以下で iLO の SNTP の設定が無効の場合、iLO の再起動を行うと iLO の時刻がずれてしまう場合があります。

iLO Web インターフェースにて SNTP の設定を行い、ご使用いただくことを推奨します。

iLO の SNTP の設定方法については、iLO5 ユーザーズガイドを参照してください。

● OS起動時に検出されるネットワークポートやファイバーチャネルポートの接続エラーについて

OS 起動時に Agentless Management Service(AMS/smad) や ESMPRO/ServerAgentService のサービスが開始されたときに、これらのサービスによってネットワークポートやファイバーチャネルの接続エラー(Link Failure)のメッセージが記録される場合があります。

これらのメッセージは装置の再起動中に発生した一時的な接続状態の遷移を iLO によってイベント検知したことによるものです。これらのメッセージは無視して問題はありません。

● OS動作中におけるiLOの再起動について

OS 動作中に iLO の再起動が発生すると、OS のシステムログにリモートコンソールが使用する仮想 USB デバイスの切断と再接続のメッセージや、iLO と通信を行っている iLO ドライバと smad プロセスの通信異常を示すメッセージが記録されます。これは仕様上の動作であり問題はありません。

■Linux OS の場合のメッセージ例

```
kernel: usb 2-3: USB disconnect
kernel: hpi0 0000:01:00.2: Open could not dequeue a packet
kernel: hub 2-3:1.0: USB hub found
smad: Failed: Writing SNMP_HELLO_BYE send=-1 errno =19
```

● 装置情報ユーティリティ実行時のUSBメッセージについて

装置情報ユーティリティ(ezclct/collectsa)を実行すると、OS のシステムログに装置内部の情報を収集するために一時的に装置内部の USB デバイスへ一時的な接続を行い、収集後切断されたことを示すメッセージが記録されます。これは仕様上の動作であり問題はありません。

■Linux OS の場合のメッセージ例

```
kernel: usb 2-3.1: New USB device found, idVendor=0424, idProduct=4030
kernel: usb 2-3.1: New USB device strings: Mfr=1, Product=2, SerialNumber=3
kernel: usb 2-3.1: Product: Ultra Fast Media Reader
```

● 内蔵DVD-ROM(NE3351-137)表示について

Embedded SATA Configuration 設定(*1)を [Smart Array SW RAID Support] 設定時、運用環境により Disk Utilities メニュー(*2)に内蔵 DVD ドライブ情報が2つ表示されます。

どちらのドライブを選択した場合でも同じ内蔵 DVD ドライブの情報が参照できます。

(*1) 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Storage Options > SATA Controller Options > Embedded SATA Configuration」

(*2) 「System Configuration > HPE Smart Array S100i SR Gen10 > Disk Utilities」

● VMware ESXiを使用する場合の注意事項

ESXi起動時のVMware vSphere の監視 > ハードウェア > システムセンサー > センサーの表示について。

①下記のような Heartbeat Lost センサの表示が『警告(黄色)』となる場合があります。

[Device] I/O Module (n) LOM_Link_P(n) : Heartbeat Lost-Assert

[Device] I/O Module (n) NIC_Link_P(n) : Heartbeat Lost-Assert

※n : LAN ポート番号の P1~4 を示します。

< iLO5 フームウェア : 1.43 以降が適用された環境 >

ESXi 起動完了後、Heartbeat Lost センサの健全性(vCenter : ステータス)の表示が『警告(黄色)』となる場合、数分お待ちいただくと『警告(黄色)』から『標準(緑)』に遷移しますので、しばらくお待ちください。

②非冗長 FAN 構成において ESXi 起動完了後、下記のセンサの健全性(vCenter : ステータス)の表示が『警告(黄色)』となる場合がありますが、ハードウェアの故障を示すものではなく運用に影響ありませんので、そのまま運用いただけます。

- Cooling Unit 1 Fans

③ESXi 起動完了後、下記のセンサの健全性(vCenter : ステータス)の表示が『?』となる場合がありますが、ハードウェアの故障を示すものではなく運用に影響ありませんので、そのまま運用いただけます。

- System Chassis 1 UID

● VMware ESXi環境でのAgentless Management Service(AMS)の注意事項

VMware ESXi 6.7 の環境に Agentless Management Service (AMS) version 11.4.0 がインストールされている場合、VMware Update Manager による VMware システムの更新が、/tmp ディレクトリへステージングするための空きがないことを示すエラーで失敗することがあります。

/tmp ディレクトリの使用可能なディスク容量に依存する他のアプリケーションでも同様に失敗することがあります。VMware ESXi ホストの/tmp ディレクトリにある "ams-bbUsg.txt" ファイルのサイズが時間の経過とともに増加するためです。空き容量を確保するために "ams-bbUsg.txt" ファイルを定期的に削除してください。

※ファイルを削除した場合は再度ファイルが作成されます。また、VMware ESXi ホストを再起動した場合も当該ファイルは削除されますが、再起動後に再度作成されます。

/tmp ディレクトリの容量が 256MB である場合、2か月程度で上限に達することができます。1か月に一度を目安に削除してください。

※ご使用の環境の/tmp ディレクトリの容量に比例してファイル削除の実施頻度を変更していただけます。

例) /tmp ディレクトリの容量が 512MB である場合、4カ月程度で上限に達することができますので、3か月に一度を目安に削除します。

本事象は Agentless Management Service (AMS) 11.4.5 以上で修正されています。

下記のサイトをご確認いただき、AMS のアップデートを行ってください。

<https://jpn.nec.com/nx7700x/>

([技術サポート情報・ダウンロード] - [ドライバー、ユーティリティ関連の物件] のページの
ユーティリティの項を参照)

◆/tmp ディレクトリの容量は以下のコマンドを実行することで確認することができます。“tmp”的行を確認してください。

```
# vdf -h
:
Ramdisk          Size   Used Available Use% Mounted on
root            32M    2M     29M   7%  -
etc             28M   172K    27M   0%  -
opt              32M   564K    31M   1%  -
var              48M   448K    47M   0%  -
tmp             256M   276K   255M   0%  -
:
```

◆Agentless Management Service(AMS)のバージョンの確認方法には以下の2つの方法があります。

・対象装置のOS上で確認する方法

(1) コンソール端末から以下のコマンドを実行します。

```
# esxcli software vib get -n amsd | grep Version
```

(2) コマンド実行結果から「600.xx.x.x-…」、「650.xx.x.x-…」などのxx.x.xの箇所を確認します。

・iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法

(1) リモート環境において、Web ブラウザーから iLO Web インターフェースにログインします。

(2) 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ソフトウェア」を選択します。

(3) 画面の「Product Related Software」の「amsd」のバージョンを確認します。

※「600.xx.x.x-…」、「650.xx.x.x-…」など、xx.x.xの箇所を確認します。

● ESMPRO/ServerManager (Windows版) およびエクスプレス通報サービス (MG) に関する注意事項

本製品の iLO フームウェアバージョンと、ESMPRO/ServerManager (Windows 版) およびエクスプレス通報サービス (MG) のバージョンの組み合わせによっては ESMPRO/ServerManager (Windows 版) および iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイルのアップデートが必要になる場合があります。以下をご参照のうえ、アップデートが必要な場合は、最新バージョンにアップデートしてください。

各バージョンの確認方法については、本注意事項の末尾に記載します。

◆ ESMPRO/ServerManager (Windows 版) に関する発生現象

iLO ファームウェア	ESMPRO/ ServerManager (Windows 版)	発生現象
Version 1.43 以上	Version 6.25 未満	<ul style="list-style-type: none"> 構成タブ - サーバ状態 “SNMP 通報設定”が“取得に失敗しました”と表示される リモート制御タブ - iLO 情報 - IML の表示、IML の保存 IML 情報の取得に失敗し、表示および保存ができない アラートビューア ファームウェアアップデートにともない追加されたハードウェアの障害がアラートビューアに“不明タイプ”的アラートとして表示される
	バージョン 6.47 未満	<ul style="list-style-type: none"> アラートビューア ファームウェアアップデートにともない追加されたハードウェアの障害がアラートビューアに表示されない、もしくは“不明タイプ”的アラートとして表示される

◆ ESMPRO/ServerManager (Windows 版) のアップデート方法

(1) 以下より最新版の ESMPRO/ServerManager をダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010103524>

(2) 「ESMPRO/ServerManager Ver. 6 インストレーションガイド (Windows 編)」の「2章 インストール」を参照して ESMPRO/ServerManager をアップデートします。

◆ iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイル に関する発生現象

※エクスプレス通報サービス (MG) をご利用されている方が対象です。

iLO ファームウェア	iLO 管理機能向け 受信情報設定 ファイル	発生現象
バージョン 1.43 以上	iLo_jp.mtb バージョン 1.4.0 未満 iml_jp.mtb バージョン 1.5.0 未満 ※iLO 管理機能向け の受信情報設定 ファイルは 2 種 類あります。	フームウェアアップデートにともない追加されたハードウェアの障害を検知することができない。当該障害を通報することができない。 ※受信情報設定ファイルをアップデートした場合であっても、ESMPRO/ServerManager がアップデートされていないときは、上記と同様に追加されたハードウェア障害の検知および通報ができない。

◆iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイルのアップデート方法

- (1) 以下より最新版の受信情報設定ファイル(iLo_jp.mtb、iml_jp.mtb)をダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010100096>

iLo_jp.mtb、iml_jp.mtb は MGMTB.zip に含まれています。

- (2) 「エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド(Windows 編)」の「3.1.5 受信情報の設定」または「3.2.4 受信情報の設定」を参照して受信情報の設定画面で登録済みの受信情報を削除します。

- (3) (1)でダウンロードした最新版の受信情報設定ファイルを登録します。

「エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド」は以下の URL からダウンロードしてください。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

◆iLO フームウェアのバージョン確認方法

- Server Health Summary で確認する方法

サーバ本体の UID ボタンを押下して、サーバに接続されたコンソールに表示される iLO Firmware のバージョンを確認します(Server Health Summary の詳細は iLO 5 ユーザーズガイド参照)。

- ネットワーク経由で確認する方法

iLO にネットワーク接続可能な場合、ブラウザから iLO にログインして、メニュー「ファームウェア&OS ソフトウェア」から iLO のバージョンを確認します。

◆ESMPRO/ServerManager (Windows 版) のバージョン確認方法

- (1) ESMPRO/ServerManager の WEB にログインします。

- (2) 画面右上の「ESMPRO/ServerManager について」のリンクを選択します。

- (3) 表示される ESMPRO/ServerManager のバージョン情報を確認します。

◆iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイルのバージョン確認方法

「エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド(Windows 編)」の「3.1.5 受信情報の設定」または「3.2.4 受信情報の設定」を参照して受信情報の設定画面で「詳細情報」が「iLO SNMP Trap」のバージョンを確認します。

NEC



CBZ-035220-001-029

2020年 2月 3版